

# 入善町 議会だより

## 12月定例議会

№. 64 号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会  
富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100

— 2月5日 第2回雪っ子まつり —

雪不足のため“親子そりリレー”が  
“パン食い競争”に変わりました。



## 交通死亡事故の絶滅を決議

除雪対策に **3,000** 万円追加

一般会計補正予算

舟見に防災無線のスピーカー増設

### 昭和62年度決算を認定



水キラキラ 町いきいき 入善

12月

第22回

会期14日間

# 定例会

12月定例会は8日から21日までの会期で開催され、63年度一般会計補正予算など議案8件、陳情3件、議員提出議案1件、同意案1件をそれぞれ原案どおり可決・採択しました。

また、62年度決算認定については、決算特別委員長審査報告のとおり認定されました。

## 除雪対策に二千万円追加 職員の給与改定に二千三百万円

### 舟見に屋外スピーカー

昭和六十三年度一般会計の補正額は六千六百三十三万二千円で、その財源には、地方交付税で五千八百二十万円、寄附金、諸収入がそれぞれ五百万円充てられている。歳出の主なものは、民間除雪機械の借上料やタコメーターの購入費を含めた除雪対策費に三千六十一万円が追加されたほか、人事院勧告に準じた職員給与改定費二千三百六十七万円、新屋地内で行われている農業用水を利用した路面消雪工事費五百三十四万円、舟見地内に設置する防災行政無線の屋外スピーカー工事費三百十五万円などとなっている。

### 町長は六十九万円

#### 三役・議員報酬引き上げ

人事院勧告に伴う職員の給料アップとの均衡を図るために、町長等三役の報酬を特別報酬審議会の答申どおり引き上げすることに決めた。また、議会議員の報酬について

も他町村の状況を考えながら、二年ぶりに報酬を引き上げ、六十三年十月一日から適用することにした。

引き上げ額は次のとおり。

- 議長 「二十五万五千円」を「二十七万五千円」に
- 副議長 「二十二万円」を「二十三万五千円」に
- 議員 「二十万円」を「二十一万五千円」に
- 町長 「六十三万円」を「六十九万円」に
- 助役 「五十万円」を「五十五万円」に
- 収入役 「四十五万円」を「五十万円」に
- 教育長 「四十五万円」を「五十万円」に

### 各種委員もアップ

各種委員会委員の報酬は、昭和六十二年度の一部改定されているが、大半は五年以上据え置かれていたため、職務内容や活動状況等を勘案しながら、教育委員会委員、監査委員、公民館職員等、十三委員会の委員報酬を平成元年四月か

### 消防団は一万五千円

町民の生命と財産を守る消防団員のご苦労に少しでも報いるため、報酬年額を平成元年四月一日から引き上げることにした。

団長	年額七万円
分団長	四万円
団員	一万五千円

### 職員給与は二・三五パーアップ

国家公務員の給与改定に準じ、職員の給与を平均二・三五割、六千三百五十五円引き上げることになった。

### 県営で水道管移設

#### 簡易水道特別会計

舟見地内の四千石用水改修工事に伴って、用水路沿いに埋設されている舟見簡易水道の水道管の移設が必要となったため、工事費八十八万七千円を計上したもので、全額県で負担される。

### 交通死亡事故の絶滅を決議

昭和六十三年にはいつてから交通死亡事故が増加しており、町民の安全意識の高揚が急務となっている。このため町民総ぐるみによる交通安全運動を展開しながら、交通安全対策を充実強化し、安全で快

適な町づくりの実現を願って決議を行った。

### 採択された陳情

- ◇町道吉原国道線消雪装置の設置に関する陳情
- ◇精神薄弱者更生施設増設に関する陳情
- ◇離岸堤設置に関する陳情(吉原)

### 監査委員に

#### 谷久重氏を再任

十二月二十一日で任期満了となる監査委員の谷久重氏を引き続き再任することに同意した。  
入善町古黒部 谷久重氏(再)

### 15年在職議員に感謝状

十二月定例会の開会に先立ち、議員在職十五年となった岡島松次郎、本田幸光、石川昭男の三議員に対して、町長から感謝状が贈られました。



# 町民の信頼と期待に

## 応える努力を

長  
委員  
報告

決算特別委員長 五十里 隆 章

昭和六十二年度入善町歳入歳出決算について、九月三十日に決算特別委員会が設置されて以来、町内の現地調査を含めて、延べ六日間にわたって慎重に審査した結果、議会の議決の主旨に沿った適正な執行と認め、賛成多数で認定すべきものと決定した。

昭和六十二年度は、国や地方自治体を取りまく深刻な財政事情を背景として、前年度に引き続き、大型建設事業の縮小や消費的経費のマイナス五割シリングを設定するなど、産力、財政支出の抑制に努められたため、一般会計歳出決算額は六十一億八千三百九十三万円となり、二年続きの緊縮決算となっている。

一方、景気の回復基調を反映して、町税収入が約二億円の伸びとなるなど、実質単年度収支は三億七千九百八十一万円の黒字となったことは喜ばしい限りである。

### 重要な職員研修

### 職員採用は公募で

高度な専門知識と、めまぐるしく

く変化、進展する社会情勢を的確に把握し、対応できる能力を備えた人材の養成は、町行政の中でも最も重要なポイントの一つである。現在の職員は井の中のカワズになつていないか。百聞は一見にしかず、もつと町外へ出て、他市町の状況を見聞しながら視野を広め、時代を先取りする能力を養うことが肝要である。

六十二年度末の臨時職員は六十六名で、そのうち二十八名が定数外職員となっている。中には五年以上の長期にわたる者もいるが、ケジメを大切にしてほしい。

職員の採用は、あくまで広く町民に公募し、厳正な試験によつて決定することが大切である。一方、年間を通じて恒常的に臨時職員を雇用している係があるが、これらは根本的に人数が足りないのではないかと考えられるので、正職員を配置するなど、人員配置の見直しを検討していただきたい。

また、消防署の職員は隣接市町に比べて少ないようだが、これで緊急事態に対応できるのか、充分な検討が必要である。

### ガン撲滅の日の運動を

町内における高頻度医療の状況は、一位が脳梗塞、二位ガン、三位脳動脈硬化症、四位腎不全となっている。

中でも、ガンによる死亡率は富山県が全国第二位となつており、「ガンに対する認識を深めるために、「ガン撲滅の日」を設定してはどうか。町民総ぐるみの啓蒙運動を行うことによつて、医療費の削減、ひいては国民健康保険税の引下げにつながることも考えられよう。

### 苦しい農業の経営 企業誘致で町の活性化

入善町の農家三千七百戸の農業粗生産は約七十七億八千万円。そのうち米は六十二億円と推定されるが、機械化などによる投資経費も大きく、苦しい経営状態になっている。

これを打開するためにも、転作田を有効に活用して収益の上がる特産物の開発に努力していただきたい。

昭和三十九年に造成された入善機械工業センター団地には十社が

立地し、町の産業発展の一翼を担っていたが、本年三月、柳村山精機が業績不振のため工場閉鎖となつたことは誠に残念なことである。五千八百平方メートルにのぼる工場跡地が有効に活用されるため、一刻も早く優良企業の誘致に奔走していただきたい。

なお、町外からの企業誘致には、土地のあっせんや税の優遇措置などの配慮がなされているが、町内には独力で会社の経営に努力されている所もかなり見受けられるので、公平を失しないような配慮が必要である。

### 配慮がほしい公園管理 町営住宅は満ぱい

公園の管理については、地元の人達の協力を得て、きれいになっている所が多いが、問題のある所もあるようである。特に樹木がだんだん大きくなると、高齢者では管理ができなくなるので、公園の造成段階から樹木の植栽などに配慮する必要がある。

樹木のせん定を業者に全部まかすというの問題があると思われ、るので、シルバー人材センターの設置・活用や、町でもせん定士の養成についての検討をしていただきたい。

町では現在五団地、二百三十四戸の町営住宅があるが、ほとんど満ぱいの状態である。

低所得者に低廉な家賃というのが法の主旨だと思うが、入居者

の中には十年以上の長期入居者が過半数もあり、収入超過者も多いように見受けられる。本当に困っている人に入居してもらうためにも、安い宅地の分譲あっせんなどの環境づくりをすることが行政の責任ではないだろうか。

### チエと汗を出せる 環境づくりが必要

二か月間にわたる決算審査の中で、最も関心の高かったのは、職員の不祥事件に端を発した職員研修の問題である。

公務員としての公正・誠実な行動は言うまでもないことであるが、行政執行の手足となるのは職員であり、その手腕・力量によつて町の発展が左右されると言っても過言ではないからである。そのためにも、職員自らの研鑽もさることながら、職員が働きやすい、チエと汗を出せるような環境づくりが必要である。町長はじめ管理職員には大局的な判断力を持つて、提言を受け入れ、対応し、改善していく姿勢を望みたい。

町の将来像である「活力とつるおいに満ちた文化のまち入善」をめざすために、今、最も必要な施策は何であるか。全職員が一丸となつて、現状の把握、分析に英知をこめて、常に創意と工夫を働かせながら、町民の信頼と期待に応えるように、いっそうの努力を切望する。

# 町政に対する

## 一般質問…9人登壇

12月13日・14日

1009  
ほど遠い活力のある町  
企業誘致は熱意が決め手

自民党代表質問 佐藤学英 議員

問 町長は就任以来、住民参加の町政、開かれた町政をモットーとして、活力とうるおいに満ちた文化の町入善を将来像とした町づくりを努力されているが、あなたが唱える活力ある文化の町には、ほど遠い感がある。  
二期七年間の町長としての実績について、どう評価しているか。六十三年度予算の執行状況はどうなっているか。また、税収の見込みはどうか。

### 心の豊かさを大切に

町長

入善町は広大な土地と水、動植物な人間性に恵まれているが、県都富山と比較すると文化面での差が大きいと感じており、町民会館の建設、学校教育施設の改善を行って、次代を担う子供たちの教育に力を入れてきた。

これらを通じて、町民のみならず、ものに物のかさきよりも心の豊かさを大切にする考え方が定着しつつあるのではないかと思っている。ま

### 新年度の重点施策

問

国は六十四年度の予算編成作業に当たって、二年連続四割台の伸び、公共事業費は横ばいという方針を出している。  
消費税導入を柱とした税制改革の実現を前提としながら、多様化する町民ニーズに最大限に応えるために、どのような重点施策を考えているか。

また、新総合計画のローリングについて、六十四年度の地方債十二・六割、債務負担行為五・五割という状況の中で、事業費や財源等について完全実施できる見通しがあるのか。

### 西部保育所を改築 園家山に野外ステージ

町長

六十四年度の新規事業としては西部保育所の改築をはじめとしてふれあい道路や駅前駐輪場、園家山に野外ステージ、舟見山自然公園の整備などを予定している。  
継続事業には、中央通り線、入善小学校、農免農道、副離岸堤設置、総合体育館の用地取得などがあり、計画町政、健全財政をベースとしながら積極的に町民ニーズに応えていきたい。

六十四、六十五年は新総合計画八年間の仕上げの段階であり、職員全体で知恵と汗を出しながら完成させたい。できれば、財政の硬直化を少なくするために、公債費を繰上げ償還することも考えている。

### 要望に最大限の対応を

問

各地区で開催された町政懇談会の要望事項に対して、来年度予算にどのように反映されるのか。  
また、自民党議員会が生活環境の整備、義務教育施設の充実、都市計画街路の整備、海岸の整備促進など十七項目の重点施策について要望したが、その対応はどうか。

消費装置の地元負担金二十割について、引き下げを検討すべきでないか。

### 聞きっぱなしにしない

町長

町政執行に当たって、常に住民との対話を大切にしており、開かれた町政をモットーにしている。  
町政懇談会で出された要望は道路改良、舗装、消費が圧倒的に多い。すぐに処理できない問題は、年次的、計画的に実施するなど、少なくとも聞きっぱなしにしないように心がけている。

自民党議員会からの十七項目に及ぶ重点要望事項については最大限に尊重し、新年度予算で対応したい。  
消費装置の設置には二十割の地元負担をお願いしており、機械対応のできない、民家の連担した所は大体設置されたと思っている。今後、連担戸数は少ないが必要だという所の地元負担については、状況をよく見極めながら、軽減の措置も必要かと思う。

### どうする土曜閉庁

問

今年度から四週六休制が実施され、これに伴う弊害も起こっているが、土曜閉庁について、どのように考えているか。  
企業は人なりと言われ、行政にも相通するものと思う。倒産の危険のないことが競争のない甘えとなっていないか。本年、職員の死亡事故があったが労働過重はない

のか。職員定数の見直しや各課適正配置について、どのように考えているか。

ラスパイルス指数はいくらか。

### 行政サービスが低下しないように

町長

現在、土曜閉庁によって、どのような影響があるかを調査しており、少なくとも行政サービスの低下にならないよう配慮したい。

今年にはケガや病気が続出し、事務的な支障は生じていないが、快適な職場から活力ある行政が展開されるという意味では残念である。

職員定数は三百三十四名で、現員は十名下回っているが、事務の繁忙なども考えながら選材適所の人員配置を心がけている。その他定数外職員二十三名、臨時やパートの人にも協力してもらっているが、身分の安定が大きな課題で苦慮している。

ラスパイルス指数は九十九。一で、県下市町村の二十一位になっており、中位以上のランクに引き上げたい。

### 企業誘致で町活性化を

問

企業誘致は、その自治体のトップが真剣になって相手企業へ足を運び、企業のトップと接することによって実を結ぶものであり、自治体の熱意が決め手だと言われている。

いる。

先の新聞にアサヒビールの黒部進出が報道されていたが、最終決定は来春と聞いているので、入善町へ誘致するように決意を示してもらいたい。

また、北陸自動車のインターチェンジがないことが企業誘致の障害となっているので、建設について検討する意思がないか。

### アサヒビール誘致に全力

町長

企業誘致は全国の市町村の大きな政治の課題であり、町でも県や

## きれいな水を後世に

### 全国第二位の黒部の清流

清新クラブ代表質問 竹内 壮 太 議員

先般テレビ、週刊紙等で日本のきれいな川、おいしい水が紹介され、黒部川が第二位にランク、化学的にもおいしい、きれいな水が証明された。

一方、黒部川上流で発電やダム工事などが進められ、河川が汚される恐れがある。為政者はこの水を守り、後世に残す義務と使命があると思うが、この恵まれた地下水の活用や今後の変化を調査研究

東京入善会、関西入善会などを通じて情報収集に努力している。

アサヒビールの北陸進出については、県を通じて積極的に名乗りをあげている。先日、アサヒビール本社へ陳情に行ってきたが、雪の多く降った状態を見て三月末までに候補地を決定したいという意向だった。町としては誘致に熱意を示すという意味で、町の業者にもアサヒビールの利用を協力要請している。

インターチェンジは、道路公団の方針では十キロに一か所となっており、黒部朝日間は八・七キロなので難しいと思っている。

### 町のりのカギは川を守り活用すること

町長

黒部川の透明度は全国で二位だということに喜ばしい。

この川を汚さないことが極めて大切であり、水資源は貴重な町民の財産だと受け止めている。

これを守り活用していくことが町づくりのキーポイントになる。これら一級河川や中小河川も含め汚さない施策あるいは活用方法を十分検討したい。

CI事業の一環として町のイメージアップマークやキャッチフレーズなど決定したが、これらはシールにし、町の特産品に貼って活用したり、民間の関係者にも協力願ひ、マーク入りTシャツなどを作ってイベントに着用することも考えている。ご提案のイメージジ



▲ 町のイメージアップ用にPR名刺

ングも良いアイデアであり、歌詞やメロディについても公募することを検討したい。

### 下水道対策を

問

町政懇談会での要望事項の四十五割が側溝の改善である。近年上部でかんがい排水事業が実施され、毎年長期間減断水があつて側溝は石やドロが堆積し、特に水洗トイレの多い元町では、用排水路が不潔で醜い状態になっている。住みよい町づくりのため下水道対策に取り組み考えはないか。

### ベストの方法を研究

町長

下水道は大きな予算が必要となる。下水道が良いのか、手帳に川を汚さない方法がないのか、関係課に調査研究を指示している。

幸い本町は水量が多いこと、適当な勾配があり水がよどまなく流れる現状、市街地が黒部川扇状地の海側にあるなど地理的条件を勘案し、農村下水道と分ける方法も含め、今後の町政の大きな課題として、新総合計画に盛り込んでいきたい。

### 隣町と連携してリゾート開発を

問

舟見地区に温泉が湧出したことにより町でもふれあい温泉などによって完成させ、利用者も多くなつており、民間によるリゾート計画もある。

隣接の宇奈月、朝日町においてもリゾート開発や観光事業が進められているが、各町がばらばらに施設や道路を作り、横のつながりがなく、各町が連携して統合開発を目指す合議機関を設置したかどうか。

### 舟見山も候補地

町長

温泉湧出により、宇奈月町の黒部

峡谷、棚山のゴルフ場と一体化した観光リゾートの拠点として、舟見山を中心とした地域も潜在観光の候補地と思う。

町も、ふるさとづくり特別事業あるいは県の森林浴の森事業などを通じて舟見山自然公園の整備を計っていききたい。

今後、三町町長会議を開催し、十分連携のもと問題に対処していきたい。

### 高金利債務の繰上償還を評価

問

六十二年度決算における法人町民税の調定額は当初予算に対し四十三割増である。六十三年見込みはどのように把握しているか。また、県支出金、地方交付税の歳入見通しを伺いたい。なお、消費税導入によって町財政への影響はどの程度と考えるか。

地方債残高の推移、公債費比率は六十三年度以降漸減しており、六十二年度に高金利債務の繰上償還三千二百万円なされたことは評価したい。六十三年度以降もその意思があるか。

### 大きい法人の伸び

町長

法人町民税は、例年大手法人の多い十二月決算期の方が申告納付される二月にならないと見過せなかつた。本年は景気上昇を反映

### 消費税の影響は一億九千万円

企画財政課長

県支出金は現計予算どおり確保できると考えている。地方交付税は十五億一千九百万円の内示があり、当初より二億一千九百万円の増額である。繰入金は一億九千万円計上しているが、今後の大型プロジェクトに備えての財調基金や高金利時代に借り入れた繰上げ償還に充てたいと考えている。

消費税の影響は、減税に伴う町民税、たばこ消費税、電気ガス税で二億六千六百万円の減収。かわりに消費税と地方交付税で一億三千三百万円の補てんによって、歳入では一億三千三百万円程度の減収になると見込んでいる。一方歳出では物件費、工事請負費等が消費税に上乗せとなるほか、平均一、二割くらい物価を押し上げると予想すると五千七百万円程度の影響は避けられないと思う。歳入、歳出を合わせた影響額は一億九千万円を見込んでいる。

### 9月から新校舎で

問

六十三年度最大の事業である入善小学校建設は、本年早々着工し、明年九月の二学期から新校舎で授

業を受けられるように聞いているが、工事の進行状況はどうか。教育長

入善小学校建設工事の進捗率は十一月末で二十七・二割で、十二月末までに小屋根上までコンクリ

## 墓ノ木自然公園を理科教育の場に

白又正司議員(自民)

六十四年度重点施策の中心は、高速自動車道を境にその上部にはみるべき事業がなく、過疎化に結びつくこと憂慮している。

この際、墓ノ木自然公園を中心に思い切った整備を加え、昆虫類が住み育つような環境を作り、子供達の理科実験の場や、これを販売する方法を考えてはどうか。

### 大切な自然との触れ合い

町長

高速自動車道によって入善町は上下に区切られた形で、例えば、積雪の状況においては差があるように思う。しかし、行政面については常に町全体の均衡ある発展に留意し、地域格差がないよう努めている。

墓ノ木自然公園は建設省の河川

### ウォークベースポールの普及推進を

問

町で考案したスポーツ種目であるウォークベースポールは、お年寄りから若い人も楽しめるスポーツとして、健康管理の面からも、これを積極的に推進普及すべきで

敷を借りてキャンピング場にしており、柳やハンノキ等が繁茂し、昔そのままの状況を呈している。

この自然を生かし昆虫を栽培する考えは大変ユニークである。近ごろの子供達は昆虫をデパートで買ってくるような事で、自然の中で昆虫と子供達の触れ合いに欠けている。教育の中に自然を取り入れ、昆虫の生態を観察し、理解を深めるよう教育委員会とも相談し努力したい。



▲ 心配そうに……何塁打かな？  
— 町が考案したウォークベースボール —

ないか。将来的には県体に採用される種目まで押し上げる考えはないか。

**全国にビーチボール**

町長

ウォークベースボールは、入善町が文部省から補助を受け開発したもので、野球のおもしろさとゲートボールの要素を加えた、高齢者、若者、子供達まで気軽に参加できるのが特徴である。今後は朝日町のビーチボールが盛ん

になったように、町としてもあらゆる機会を通じてPRに努め、できれば入善町や富山県のみならず全国的規模にわたってこの種目が採用されるよう努力していきたい。

**農地改革に次ぐ大改革**

問

農政をめぐる今日の状況は、かつて経験したことのない厳しいもので、農地改革に次ぐ農業の大改革を図らねばならない事態を迎えており、単に農家だけでなく、町、

県、国全体の問題である。これからは国際化の中での農業というものを洞察し、対処する必要があるか。

**国際的視野で農業を**

町長

農業をとりまく情勢は極めて厳しく、多くの課題を抱えており、指摘のとおり日本だけの農業でなく、国際的視野において大局的な立場で考える必要がある。行政も今までやってきたからこ

れからも言うことでなく、年々情勢が大きく変化しており、それに対応できる考え方が必要である。今後とも発想を転換し、農業問題に取り組むよう関係機関とも協議していきたい。

**各年代で価値観の相違**

問

今日の変動する社会に適切でない者も多くなり、各種の問題が生じている。教育が社会について行けない面もあれば、社会に対して先導的役割を果たし得ない面もみられる。また、各年代層におけるズレや価値観の相違もある。これらに対応する生涯教育のあり方について承りたい。

**大切な世代間交流**

教育長

社会教育は町民の生涯にわたる

**運動公園山側に  
駐車場の設置を**

学習活動を対象としており、個人の自発的学習を積極的に推進援助し、個々の知識の向上と社会浄化を図ることによって個人の幸福と社会の発展につなげることが大切と思う。

年代別社会教育については、生命の誕生以前の妊婦の胎教にはじまり、乳幼児、少年、高齢者に至る各分野にわたっての学習が行わ

れており、特に青年や婦人には国際化時代に対応できるような研修や、指導者研修など多彩な事業を実施している。

また、地区公民館を拠点として、それぞれの学級や世代間交流が実施されており、だれもが、いつでも、どこでも学び合える、高め合える生涯学習社会の構築に今後とも努力していきたい。

板川 清治 議員(自民)

運動公園は四十九年に造成され、年間五万人の利用者で賑わっているが、駐車場が海側に百六十台分しかないのが難点である。

野球やソフトボール大会があることに山側の道路に駐車し、農作業や付近民に迷惑をかけている。ぜひとも山側に駐車場が必要だと思いが、どうか。

**体育館の建設時に解決**

町長

現在の駐車場では大きな大会のときに足りないのは十分に承知している。

運動公園の駐車可能台数は百六十台だが、十月十六日の町民体育大会の時は、道路の両側駐車を含めて五百台を超えていた。

野球、ソフトボールのシーズンは、山側の道路に多数の路上駐車

る見通しがあれば、買取して駐車場に充てたいと思っている。

現在、総合体育館用地の先行取得の予算措置をお願いしているが、用地を取得し、総合体育館を建設する段階になれば、駐車場の問題も根本的に解決したい。

路上駐車については運転者のマナーの問題もあると思うので、そういう点でのビーチボールにも努めたい。

スポーツ振興課長

### 公園の専門家養成を

があつて交通安全上も好ましくないので、駐車場の分散方式も検討している。

問

緑あふれる安らぎのある町づくりをめざして、昭和四十七年に公園都市宣言を行い、二十七か所の公園を造成して、六十年に全国の町村で初めて緑の都市賞を受賞したことは喜ばしいことである。

この除には二十五名の公園管理人のみならずの大変なご苦労があつたことを忘れてはならない。

一方で、町に公園管理の専門家がいないために管理人との連携がうまくいかず、いろんな問題点が出てきている。公募に頼るだけでなく、町の職員の中からエキスパートを養成したらどうか。

公園管理の実態について、どう把握しているか。

### 認識してほしい 自分たちの公園

町長

公園の目的は緑化推進と同時に地域の人たちのふれあい、コミュニケーションを促進する動きだと考えており、自分たちの公園だという認識がなければ、「美しい公園づくり」ができないのではないかとと思う。

公園の維持管理や病害虫防除などの指導ができる職員を採用したいと考えて、五十九年に公募した



▲ いざという時に！  
— 消防職員レインジャー部隊 —

が応募者がいなかった。決してあきらめてはいないので、今後の課題として対応したい。

施設管理事務所の職員には、町の造園業者の指導を得ながら、現場対応できるような技術の習得に努めさせている。

建設課長

公園維持管理委員二十五名の中には、十年以上の方や順番で仕方なしという方もおられ、本人の意欲、考え方によって公園の管理に多少影響があるのは事実である。

町には専門的な知識を持った者はいないが、フラワーセンターや花と緑の銀行等と連絡をとりなが

### 消防職員数に不安

問

富山県は昭和六十年から三年連続して火災の一番少ない県となっているが、町でも、ことしの火災発生は一件だと聞いており、大変ありがたいことである。

一方、救急車の緊急出動件数が一年間に約三百六十件と年々ふえてきており、このような状況の中で火災が発生した時のことを考えると、現在の消防署員の数で対応できるのかどうか不安である。

### 若返りが必要

町長

入善町の人口規模に対する消防職員数が若干少ないということを知っているが、現在の人員でもやりくりすれば、十分に町民の生命、財産を守るものと確信している。

ただ、職員全体が高齢化してき

町民の財産、生命を守ってくれる消防署員は、それ相応な配置が必要だと思うが、この実態をどう感じているか。

ているので、若返りの問題、緊急時に対応するための増員の問題を含めて検討しなければならぬと思っている。

消防長

昭和四十五年に救急業務を開始した時の消防職員は十一名、現在は二十二名で災害や救急出動に備えている。

平常業務として、学校や工場などの立入り検査、消防設備の検査や指導など、年間約六百件の仕事があり、これには非番の人の協力を得ながら行っているのが実態である。

## 日本一めざし積極的に

### 入善町のシビルミニマム

本多 幸 男 議員(清新ク)

状況について、入善町の場合は全国と富山県の水準から見ると、何が、何が低くなっているか。

また、全国水準を上回っているもので町民の要望の強いものは積極的に推進し、日本一をめざすべきでないか。

### 勤に頼ることなく 客観的な資料分析を

町長

シビルミニマムという言葉は、町民が生活するための最低の水準を指しているが、入善町では、どのような基準を設けているか。町の行政水準を推し測るには、住民の欲求をどの程度満たしているか、住民にどの程度のサービスを提供しているかが一定の尺度であると言われている。

この地方公共団体のサービスには施設サービスと人的サービスがあるが、このうち施設サービスの



数値だけを見れば、上回っているもの、下がっているもの、いろいろあるが、一つの行政区画の中だけで絶対数値として判断することが正しいかどうか。シビルミマムの限界があるのでないかと思ふ。

町では、そういう意味での科学的な分析をしていないが、県下の状況を見ながら、町民ニーズを優先した町政運営に心がけている。長期的な町づくりを進める場合には、勘に頼ることなく、客観的な資料分析を基に町政発展の方向を明らかにすることが大切であり、シビルミマムについての関心を示し、常に全国的な水準から抜きん出るように創意工夫を怠ってはならないと考えている。

**食糧制度をなくすると  
どんな影響があるか**

問 政府自民党の農政は真に農民の側に立った政策と言えると思ふか。  
町が主催する営農指導員や生産組合長会議では、入善米の売れ行きと在庫はどれだけの差があるのか、生産者と消費者米価の逆さやの問題、他用途利用米の一部を食用に回したことは、米の自由化を叫んでいるのは財界と商社であるということなどを話してもらいたい。そのことによって農家も真剣になり、町の農業を守る一助になると思うかどうか。

また、現行の食糧制度をなくした場合、米はどのようにになると予測しているか。

**売れ行きの良い入善米**

農政課長

長い間、地方自治という行政の中で働いてきたが、国の政策の流れについてイデオロギーを論ずるということは非常に難しいことだと思っている。

最近では国際化に伴って米の自由化の問題、価格の問題が各所で論議されている。入善町では、自主流通米として九十割がその年のうちに流通している。逆さやの問題や他用途米、食糧制度の廃止などについては特に論議していないので、今後、技術者協議会の中で研究してまいりたい。

**総合的な道路行政を**

問

沿川朝日間の国道バイパス問題がなかなか進展しないが、現状はどのようになっているか。

梶山上野間の8号線現道拡幅はその後どうなっているか。  
新黒部大橋と関連路線計画について、黒部市側のルートが内定したと聞いたが、入善町ではどのようなことになると思定されるか。  
入善町の道路行政は断片的、単発的なものが多いが、総合的な道路行政を検討すべきでないか。

**新大橋は板屋が有望**

町長

魚津市の横山冷菜まで延びてく



▲ 8号線は2倍の広さになります  
—入善警察署前—

**実効ある非核宣言に  
住民を含めた協議会設置を**

るバイパスを黒部市がどう受けるかが問題である。  
確定した情報ではないが、黒部市では現道拡幅でなく、黒部市内を通って出島に抜けるバイパスという構想が固まりつつあると受けとめている。そうなれば、入善町では板屋地区内に橋が架けられることになり、歓迎すべきことである。  
まだラインが引いてなく、しかも非常に大きな事業なので、関係

機関と充分連絡をとりながら後侮のないように努力したい。  
建設課長  
8号線の現道拡幅は入善警察署の方から進めると聞いているが、予定よりも少し遅れている。  
将来に向けた中長期的な町道の整備計画については、学識経験者などを含めた主要幹線道路整備委員会のようなものを新年度で設置したい。

問

九月議会で非核平和都市宣言が全会一致で決議されたことは本当に喜ばしいことである。  
この宣言が宣言だけで終わることなく、具体的な取り組みを進めるために、平和団体や議会、住民を含めた協議会を設置してはどうか。

九里 郁子 議員(共産)  
なることを期待している。

**記念像・記念柱を計画**

町長

非核平和都市宣言を議会で議決されたことは大きな意義があり、町民のみならず、周知徹底するように努めたい。

具体的な活動として、役場前に宣言塔を建設するとか、宣言パネルを小中学校などの町の施設に設置する。学校や社会での平和教育の推進、図書館に平和図書コーナーの設置などが考えられる。  
新年度予算編成に当たって、この平和都市宣言が実効あるものに

具体的な作業として、記念のブロンズ像や記念の石柱を適当な場所にと考えており、新年度予算で対応したい。また、八月十五日前後に平和関係の図書コーナーを設置したり、懸垂幕をあげることも考えている。  
具体的な方法を協議するために

関係するみなさんに参加いただいで、協議会を設置することも検討したい。

教育長

教育委員会としては、人間性並びに生命の尊重についての理解、自然環境の保護、原子力の平和利用についての理解を深めることの三点に重点を置いて、学校教育や生涯学習の場に取り入れていきたい。

### 農薬汚染が心配

#### 棚山開発のゴルフ場

問  
ゴルフ場は農地と違って何の規制もなく、多量に使用される農薬が河川や海を汚染すると言われており、大変重大な問題である。

県土地対策審議会幹事会の意見書に対する回答書はどういう内容になっているか。開発行為届出書は提出されたのか。

環境アセスメントについて町独自の調査をしたのか。使用される農薬の毒性についての調査をしたか。

造成後の山林面積はどれだけになるのか。企業の洪水対策は一時間当たりの雨量を何ミリとしているのか。

### 環境調査は企業で

町長



▲ サイ水で改良が望まれる舟見5号排水路

殺菌剤、殺虫剤、除草剤などの農薬については、現在担当課で内容を調査検討させている。

企画財政課長

県への回答書には開発行為に取り組む基本的な考え方が書いてあり、関係各課で協議をしたが、特に問題はなく、県へ提出した。

開発行為届出書は、まだ提出されていない。

環境アセスメントを町独自でやれば膨大な出費になる。企業の負担でなされ、県や町がチェックをし、指導する方法が一般的である。

農薬の問題は全国的に話題になってきており、近く国から使用基準が示されると聞いているので、問題意識を持って対応したい。

### 対応遅い五号排水路

問

山林は、できるだけ自然の樹林を残すという考えから、三十戸ないし四十戸残すと聞いている。雨水対策についての具体的な計画書は出されていない。

県道朝日宇奈月線の舟見地内、羽黒と五号排水路間の両側の崩溝が除雪によってあふれ、交通マヒや麦畑が水浸しになるなどの被害に悩まされている。

防火用水の確保からも、川に鉄筋の金網と水門設置の強い要望が毎年出されているが、いまだに適切な対応がなされていない。

どのような検討をし、対処されるのか。

### 強力に働きかける

建設課長

問題の所は県道であり、用水が土地改良区の管轄になるため、なかなか連絡が不十分な状況にある。水門についても、できたあとの管理をどうするか、意見がまとまらないことも遅れている原因と聞いている。

所管は違うが、情報を収集し、関係機関に訴えるのは町の役目と思うので、強力に働きかけたい。

### 地域に合った対策を

問

町が把握しているサイ水対策が必要な所は何か所あり、それぞれに応じた対策と実施計画はどのようになっているか。

各地で流雪溝や消融雪工についての、さまざまな工夫がなされて

いる。職員を派遣し、調査、研究を行って、地域の条件に合った除雪対策を住民と共に進めるべきでないか。

### まず実態をつかむ

建設課長

サイ水のつきやすい場所は、舟見、野中、飯野、小摺戸など五六か所あると把握している。

消雪装置をすれば解決するが、予算や水源の問題もあって一挙に伸ばすことができない。

現時点での対応としては、側溝を改修したり、除雪車に対応できる所は小型除雪車を地区に配置し、状況のわかる地元のオペレーターに除雪をってもらう方法をとっている。雪の量が多い野中地区にはロータリー車を優先的に配置したいと考えている。

サイ水解消には実態をつかむことが大切で、住民の協力を得ながら、地域ぐるみの除排雪についての調査、研究を進めていきたい。

## いじめが社会問題に

### 人間性豊かな成長を期待

問

教育行政の持つ役割は限りなく

早川 誠一 議員(自民)

重大であり、生涯教育の重要性が叫ばれている。町長はすばらしい

入善町をつくるためには心の豊かさが大切だと述べられている。

十二月二日、第一回の教育問題懇談会が開催された。開いたが、懇談会はどんな目的で設置され、教育委員会に所属するものか、それとも町長の私的機関なのか、一時は校内暴力、いじめが社会問題になっており、最近では少し改善されたように言われているが、中身は決してそうではない。今後こうした懇談会が大いに活用され、時代を担う青少年が人間性豊かな成長を遂げることを期待し、懇談会に対する所信を伺いたい。

**広く住民の意見を**

**町長**  
教育問題懇談会は、学校教育、社会教育、文化芸術及びスポーツ振興に関し、広く住民の意見を聞くことを目的に設置した。

今回は、洞山、横山、舟見、野中の統合の問題にしばって意見を聞いた。

**教育長**  
最大の課題は、二十一世紀に生きる人づくりであり、いろいろな問題や必要な事項についての調査研究を行うもので、委員は二十五名以内、任期は二年とし、町長が任命することになっている。

**児童の減少が心配**

**問**  
飯野小学校に続き、現在入善小

学校の建設が進められており、近代的な学び舎での児童は二十一世紀に向かつて社会に役立つ素晴らしい青少年が成長してくれることを願っている。しかし児童数の減少は今後の学校教育に問題を投げかけている。

町長は、児童数の減少等の中で学校統廃合についてどのような見解を持っているか。

**学校統合は住民の  
コンセンサスが前提**

**町長**  
全国的に児童生徒が減少傾向にある。町の場合は、小学校五十九年、中学校六十二年をピークに減少傾向にある。校舎の改築については、舟見、野中、洞山、横山の各小学校、舟見中学校が残っており、統合問題を含めて住民のコンセンサスが前提になると思う。

小学校、中学校には、それなりに適正な児童数があると考えるので、子供たちがどうしたら幸せになるか、どうしたら教育効果上がるかという観点に立って、地元のみならずのご理解とご協力がぜひとも必要だと思っている。

**児童数は急激に減少**

**教育長**  
二十一世紀を展望した入善町の教育を考えると、残された木造校舎の整備計画が最大の重要課題である。

児童生徒の推移を見ると、小学校では現在二千四百名、六十四年二千三百名、六十九年には千九百九十名と急カーブで減少し、複式学級をやらなければならぬ事態も生ずる。また中学校では、現在千四百名、来年千三百八十名、七十年には一千名を割るような実態である。

学校統合については、教育問題懇談会の意見を聞きながら、審議会を設置することも考えているが、何よりも地域住民の盛り上がりをお願いしている。



▲ 改修が間近い黒東合口用水と下山発電所

**合口用水は迷惑施設**

**問**  
黒東合口用水路は建設以来六十年、非常に老朽化している。このたび国営事業として総事業費二百八十五億円余で全面改修され、十年の歳月を要すると聞いている。

現在の合口用水は安全な施設だと思ふか。沿岸地域は一番水が豊富だと思ふか。沿岸地域は、実際は最も水が少ない地点である。人命救助の面は何ら対応されていないか。

**要望の実現に  
精いっぱい努力**

**町長**  
黒東合口用水路が安全かどうか、安全柵の問題、救命アイの問題、管理道路の問題など、切実な意見だと思ふ。また、メリットよりデメリットの方が多かったような気がする。

現在、二百七十二億円、十年の計画で、六十三年度は宇奈月地内の黒部川で水路改修が行われており、六十四年度は墓ノ木から下山第一発電所までの工事が行われると聞いている。

**問**  
関連事業として、町道脇ノ木小杉線などの整備の問題や、地元の対策協議会からも、いろんな要望が文書で出されており、この実現のために町も精いっぱい努力をして、今まで被害を受けておられた方々に少しでも良くしようと努力をしようという形で努力をしたい。

一昨年地元と北電と激論をし、やっと救命アイが設置された。保安柵の取替えなども約束をしながら何一つ行われていない。

今回の大改修を機会に、要望を少しでも実現して、今までの不利益を与えられた黒東合口用水と縁を切りたいと考えている。

今後の対策について町長はどのように考えているか。地元対策協議会等の話を聞く気持があるのか。関係機関に対しどの程度頑張っていただけなのか。

# 大卒で2億5,000万円

## 職員採用は女性のみ4名

広瀬喜代志議員（自民）

な信念で採用決定されたか伺いた

### 優秀な人材を採用

町長

行政は人なりという言葉のように、優秀な職員は行政の効率的な運用のみならず、町民の幸せの根底にもつながると考える。二億円以上の投資を決定するからには、優秀な職員を採用したいと努力している。

来年度の採用予定は初級職一名、上級職三名で、いずれも女性とされた。試験は県の人事委員会に委託しており、県で採点したテストの結果と町で採点した作文の結果を基に九名を選んだ。二次試験は個人面接、グループ討論、体力テストを行い、総合的に判断して採用を決定した。

一般行政職その他を含めて、男女の適正な比率があると思うが、男女雇用機会均等法の精神も充分尊重し、男女の関係なく、優秀な人材を採用することにした。

### 汗と知恵と工夫

町長

農業は汗を流しながら働いたわりに収入の安定がなく、あるのは口説きと暗さのみである。

こうした町民に明るさを持つる施策を考えるのが公務員の責務であり、貴重な血税を使っている自覚、自分の立場、町民のために何

をすべきかを真剣に考えてほしい。町長は、汗と知恵と工夫だと言われるが、どのような伝達の仕方で行うのか、具体的に聞かせてほしい。

### 常に問いかけと見直しをすべし

町長

住民の理解を深め、適正かつ効率的な運営を確保するためには、職員一人ひとりが住民から信頼されるような公務員としての自覚、使命感を醸成することが肝要である。常に情勢は変化しており、これでもいいのか、法令に反していないか、本当に住民の要請にこたえているかなどの問いかけ、見直しが必要だと指示をしている。

### 発想の転換で入善国家の繁栄を

町長

新しい総合計画の策定に当たっては、職員に町の構造の分析を徹底教育し、大きな観点から物事を見ることも大切だが、発想を転換させ、視点を変えて見ることも大切である。

入善町を一つの国家と考えたと、それぞれの課は入善国家の繁栄を考える重要なポイントである。情報の収集と分析をしながら、初めからやり直すとしたら、どうすればよいか。国家入善の将来をどう運営するかを考えながら、



▲ 一般質問に耳を傾ける傍聴者

新しい総合計画策定基準をどうするかという観点に立っていただきたい。

現況の中にある入善町を、もう一つ皮をはぐというふうに見直し、試みるのも一つの方策ではないか。

### 魅力あるシナリオを

町長

新しい総合計画の策定については、西暦二千年までの十年間が適当と考えている。

二十一世紀は高齢化社会、高度

情報化社会、高速交通網の発達など全国的な共通課題がある。それに加えて本町の現状を正しく科学的に分析して把握するという観点に立って新しいシナリオをつくりたい。

余暇の増大、高齢化の進展に伴って、健康、スポーツ、文化に対する要望が強くなると受けとめている。特に二十一世紀を担う若者たちの考えも充分計画の中に織り込み、学識経験者や専門的な立場の方々の意見を充分聞きながら対応したい。



# ニュージーランドと友好提携を

## 福祉充実の農水産業都市

ニュージーランド

問 わが国の経済は急速に発展し、経済大國となった日本は、ややもすれば地域社会への奉仕、愛と忍耐を忘れ、心の貧乏という社会状態になったように思える。

先般オーストラリアとニュージーランドを視察し、金はないが心が豊かだというように感じた。

ニュージーランドのハミルトン市は、農業、水産業、社会福祉が充実し、豊かで節度ある都市であり、市長は友好都市提携を歓迎するということだったが、検討してみてもどうか。

### まずフォーレスト

町長

町では米国オレゴン州のフォーレストグループ市との姉妹都市提携について、姉妹都市事業推進委員会を開催し、なぜ締結が必要なのか、どう発展させるのか、どのような方法が一番いいのかなどを討議してもらっている。

来年五月には姉妹都市締結のために三十名余りの方に代表になっ

野坂俊一 議員(自民)

でもらい、フォーレストグループ市へ行ってくるので、オーストラリア、ニュージーランドの都市との姉妹都市の問題は、その後、推進委員会の意見を聞きながら検討していきたい。

### 集落営農の確立を

問

一九九二年には完全に農業が自由化されるといふところに迫りつつめられている。

格安で大量の農産物がはいってくるのに太刀打ちするには、集落営農方式を軌道に乗せることが必要である。

入善町の二十九万俵のコシヒカリの味は日本一、世界一であり、日本人の基礎的な食糧の確保のために、この集落営農を、いつ、どのように、どんな方法で推進されるのか、考えを聞きたい。

### 企業的な経営が必要

町長

水作のための農業機械は生産費

の三十二割を占めると言われており、個々の農家で農業に取り組むのは非常に無駄が多い。低コストの農業を進めるためには、個々の力だけでなく、集団で協業的な要素、企業的な経営を導入した営農組織が必要だと考えている。

厳しい農業を乗り切っていくために、このような問題についての相談があれば積極的に応じていきたい。

### 海岸線は高波が不安

問

一週間ほど前から、相変わらず三辺を超える高波が押し寄せ、海岸周辺の住民にとって非常に不安な毎日が続いている。

離岸堤の設置について、何度も

### 毎年4億円超を投入

町長

海岸線十一・五ののうち、十の建設省直轄海岸では、離岸堤、副離岸堤工事に昭和六十一年度は四億二千万円、六十二年度四億四千万円、六十三年度四億五千万円が投入されており、来年度もこれを上回る工事がされるものと考えている。

一・五の町が管理する漁港海岸については、昭和六十年で離岸堤十基が完了したので、六十一年から副離岸堤九基の長期計画をスタートさせており、六十四年度には三基目に取りかかる予定である。



▲ 猛威をふるう園家山海岸の高波

# オーストラリア・ニュージーランドの

## 見渡すかぎり緑の大草原

野坂俊一 議員



十月二十七日から十一月五日まで全国町村議会議長会主催の海外地方行政調査団の一員としてオーストラリア、ニュージーランドの市町村を公式訪問したので、その概要を報告したい。

視察目的は、議会制度、社会福祉制度、教育制度についての調査

である。オーストラリアは日本の二十二倍の面積がありながら、人口は東京の人口に当たる一千六百万人で、気候も暖かく、ジェット機で三、五時間乗っても全く平坦な大草原である。以下訪問先のジーロンク市、ハートミルトン市(人口十万人)の概要について申し上げる。

### 議長が市長を兼任

市議会議員は十五名で任期は三年。各議員ごとに事業担当が割り当てられている。

とくに驚いたことは、議長が市長を兼任していることで、助役、収入役、教育長の制度がなく、オンスマン制度が採用されている。

職員は五百名で、部長五名、市長室長が一名いて、事務の統括は市長室長が行っている。

予算編成議会の時は、民間人名程度が議会に加わって審議する。補正予算はあまり組まないという話であった。

特にめだつたのは女性議員が五、六名おられ、積極的な発言と行動に驚いた。

### 住宅一戸が五百万円

市長の説明によると、労働党政権下で、老人対策、医療、年金、児童福祉制度は自信をもっているが、やや税金が高過ぎるのが問題だという。

市職員の給料は平均十二万円

約七万円あれば生活費が揃える。たとえば百坪の土地と一戸の住宅が五百万円あれば購入できる。そのうえ衣・食・住が実に安い。

特に感ずる事は、スポーツ振興、ホランテニア活動が盛んな事だ。早朝からジョギングする人が非常に多いのは、肉食のため四十歳を過ぎると驚くほど肥満体が多くなり、これらを克服するために自分の身体を鍛えているのだろう。

### 音楽好きな国民

当地の学校は入善町の学校に比べて実に質素だ。一校三百名程度で十一歳まで小学校、十三歳まで

が中学校。

実に音楽好きな、のんびりと学窓で学ぶ姿は、日本の試験地獄とは相当違う点が見受けられた。

### 格安な農水産物

肉類の価格は、鶏、豚、牛、羊の順で、日本の約十分の一。子牛一頭が五万円(日本では五十万円)、乳製品は捨て値だ。

果実は実に豊富で、しかも格安だ。入善ジャンボ西瓜と同じくらいのものが一個千円、一尺ぐら

いの赤鯛一匹千五百円、伊勢エビ大一匹八百円で話にならない安さだ。これらが貿易自由化されれば日本

の農水産業はどうなるだろう。

### おとぎの国のような ニュージーランド

建国二百年。英国の統治下にあつて都市計画は実に整備されている。市街地は整然と区画整理されており、道路は片側二車線以上が確保されている。輸送力も実に大聖化している。特にどこへ行っても芝と牧草が連なる牧場風景で、ゴルフ場と同じだ。

国民性として「樹木と花」を大切にしている国民だ。特にニュージーランドは「おとぎの国」へ行つたやうな感じで、道路に紙くずや空き缶一つ捨ててない。立ち小便をするると五百ドルの罰金だという。

### 自由化対策が必要

短い日数だったが、視察してみて、米、英の文化がすべて横流れしてきたように感じた。

物資、資源も想像以上に多く、しかも安い。もしも貿易が自由化されると、日本の農水産業は甚大な影響を受けることは間違いない。今後の対策が必要だ。

英語の力が弱いため、大切な事は聞かれないので大変不便さを感じた。また、毎日パンと肉ばかりで困った。やはり、入善のコシヒカリのご飯と富山湾の魚、黒部扇状地の名水が世界一うまいと再度認識し、改めて入善町発展のため寄与したいと思ひ起こしている。



▲ 市長や女性市議と記念撮影

常任委員会

審査報告



委員長 広瀬 義孝

務会 総委 員

ふるさと活性化  
チエくらへの時代

今回の一般会計補正額は六千六百三十三万二千円、その財源のほとんどは地方交付税である。

地方交付税は、今回の補正額を含めて調定額は十四億一千四百二十万円となっているが、当初予算額十三億円に対して国からの内示決定額は十五億一千九百万円で、六十三年度の確実な財源として、まだ一億五百万円が留保されていることになる。

さらに、一億円規模の地域づくり事業を実施するために全市町村一律に地方交付税を上乗せ配分するよう自治省が決定したと伝えられている。

各市町村が自由に考え、創意と工夫をこらしながら、地域活性化の起爆剤となることを期待しての

もっと優遇したい  
公民館と消防団員

もので、このための地域間競争、各市町村のチエくらへの時代に突入することが予想される。本町においても、この財源をどのように有効に活用させるか、充分な検討が必要である。

交通死亡事故が増

交通安全対策費の二十二万五千円は、交通安全の啓蒙のために懸垂幕やチラシを作成するためのものである。昨年わずか一件であった交通死亡事故が今年はずでに五件も発生しており、県下一斉に緊急事態宣言も発せられている。雪によるスリップ事故の多発も予想されるので、なお一層の努力を期待する。

有効活用したい  
防災行政無線

防災行政無線の屋外スピーカ一設置工事費として三百十五万円が計上され、特に要望の強かった舟見地区に設置される。この屋外スピーカは町内に十四基設置されているが、窓を閉め切っていたり、風向きによって聞こえない所があることは当初から指摘されていたことであるので、これを機会に現状を充分に調査され、適切に対応

されるよう要望する。

各種委員会委員や消防団員の報酬引き上げについては、県下の状況からみても妥当な引き上げであり、全員一致で可決すべきものと決定した。特に、生涯学習活動の中心的役割を果たす公民館職員や町民の生命と財産を守る消防団員については、もっと上げるべきという意見があったことを申し添える。

職員給与改定は、人事院勧告に基づく国家公務員に準じてのもので、特に問題は無い。



文教厚生委員会

委員長 板川 清治

一般会計は減額補正

付託された議案二件、陳情一件

については、全員一致で可決、採択すべきものと決定した。

一般会計補正予算のうち、当委員会付託部分は一千二百八十五万八千円の減額補正となっている。

今回の補正は、人事院勧告に基づく給与改定が主体であり、当然増額補正となるところだが、人事異動に伴って給料等の組み替えを行った結果、かえって職員給が減額となって現われてきている。

ネズミ駆除に  
百四十二万円

人件費以外の補正としては、県費による民生児童委員の報酬費が一八千二百円増額になったことに伴う六十八名分、十三万六千円の増額のほか、小中学校のネズミ、グキブリなどの駆除費百四十二万円、舟見一区公民館の建設費補助百五十九万九千円が計上されているが、いずれも当を得た予算措置である。

簡易水道特別会計補正予算の八十八万七千円の増額は、舟見愛場地内の四千石用水の改修工事が行われることになり、用水浴いに敷設してある水道管の移設工事が必要になったため、今年度と来年度の二年間で延長百六十八メートルを工事するもので、全額県費で賄われる。

県への  
強力な運動を

精神者更生施設の増設

今回の委員会では精神薄弱者更

生施設の増設に関する陳情について論議が集中した。

陳情によれば、魚津以東の広域圏内の入園希望者は五十九名もおられ、今後もふえることが予想される。

昭和六十年に二市三町の精神薄弱者育成会から増築援助の陳情があり、各市町で検討されたが、膨大な建設費や、増築後の管理運営の問題などから、そのままになっていた経緯がある。

家族の方が、どんなにづらい思いをされているかを考えれば、一刻も早く対応策を考える必要がある。だが施設設置主体になるのか、どこに建設するのか、検討しなければならぬ点が数多くあるが、何よりも県への強力な働きかけが必要だと思ふ。



産業建設委員会

委員長 白又 正司

除雪を民間主導へ

一般会計の補正額六千六百三十三万二千円のうち、当委員会付託部分は五千三十六万二千円、その約六割に当たる三千六十一万円が除雪対策費で、当初予算と合わせると総額七千六百四十九万三千円

# 議会誌



- 11月**
- 22日 除雪対策協議会
  - 24日 姉妹都市推進委員会
  - 25日 決算特別委員会先進地調査 (長野県佐久市)
  - 28日 福島県塩川町議会視察来町
  - 29日 黒部川治水同盟会北陸地建
  - 中央陳情

- 9日 魚津バイパス一部開通式 (魚津市)
- 議会運営委員会

## 12月



- 1月**
- 4日 執務始め
  - 6日 消防出初め式



- 2月**
- 1日 友好都市事業推進委員会
  - 3日 立山町議会視察来町
  - 5日 雪っ子まつり
  - 7日 議会だより編集委員会



- 30日 決算特別委員会 (新潟市・東京都)
- 1日 議会運営委員会
- 2日 教育問題懇談会
- 5日 新黒部川大橋建設促進期成同盟会総会
- 主要地方道黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会
- 6日 決算特別委員会
- 7日 富山銀行落成式
- 8日 議員全員協議会
- 第二十二回議会定例会 (提案理由説明)

- 9日 PTA教育懇談会
- 13日 議会定例会 (一般質問)
- 14日 議会定例会 (一般質問、質疑、委員会付託)
- 15日 総務常任委員会
- 16日 文教厚生常任委員会
- 19日 産業建設常任委員会
- 20日 地域交流ホーム運営委員会
- 21日 議会定例会 (各委員長報告質疑、討論、採決)
- 23日 愛媛県丹原町議会視察来町
- 26日 新川広域圏議会 (魚津市)
- 28日 執務納め
- 30日 消防年末警戒激励

- 8日 平成元年 成人式
- 15日 北陸新幹線着工実現総決起大会及び中央官庁等陳情 (東京都)
- 20日 水田農業確立対策協議会 議会運営委員会
- 24日 各常任委員協議会
- 25日 県営かんがい排水事業愛本突電所建設工事安全祈願祭 (宇奈月町)
- 31日 大漁祈願祭

### 道路の消雪に 農業用水利用

新屋の島地区で、農業用水を利用する。補正の内容は、民間の除雪機械借上料二千六百十二万円、レボグラフの購入費二百四十万円などとなっている。町としては、町直営型から徐々に民間主導型へ切り換えていきたいということ、除雪オペレーターに民間人二人を登用することが新聞でも紹介されていたが、良いアイデアであった。

用して路面消雪を行う県単水路整備事業が五百三十四万円の増額補正になっている。当初予算と合わせて一千七百万円で、二百七十万円を整備することになるが、一部完成している区間では、先日の雪の時に威力を発揮していた。適当な勾配があつて用水の利用が可能な地域では、ほとんどこのような方式を取り入れるべきだと思う。種子一時保管庫建設事業に対する補助金として建設費の一部に相当する百六十万円が計上されているが、九月定例会で請願を採択した趣旨に沿つたもので、当局の委

### 残念な補助金返還

勢を評価する。集落環境整備事業では工事費、補償料など五百七十六万円が減額になっている。納屋の移転交渉がうまくいかなかったため、国庫補助金を返却しなければならなくなり、残念なことである。相手のある話とは言え、この種の事業の遂行に当たっては、格別当事者の意思確認が重要な問題であり、これを他山の石として慎重な対応を要望したい。

### 強力な陳情活動を

町道吉原国道線消雪装置の設置の陳情は、住民からの切なる要望であるが、予算面や緊急度、優先度を十分に検討されながら対応されたい。吉原地区の離岸堤設置の陳情については、現在、吉原海岸に敷設してある副離岸堤の一部が、この秋の寄り回り波によって崩れ落ちっており、地区民にとつても不安なことと思うので、建設省をはじめ、関係機関に対して強力な陳情活動をなされるよう期待する。

### 編集

### 後記

〇二月五日、入善西中学校グラウンドで「第二回、雪っ子まつり」が開かれました。今回は、快晴で雪に親しむというより、秋の大運動会というような雰囲気の中で、二千人以上の参加があり、親と子のふれあいの場を見たような気がしました。一番繁盛していたのは出店コーナーで、中には「試験合格焼そば」これを食べると合格確実というふれ込みで売り上げを伸ばしたとか……?

〇二月十四日は聖バレンタインデー。議員の中には、たくさんチョコレートをもらつた人がおられるようです。しかし、ほとんどの人は義理が多いとか……? 〇三月議会は予算議会とも言われ、平成元年度の大事な予算が決められる議会ですので、ぜひ傍聴において下さい。

議会だより編集委員

石川 昭男 白又 正司  
池原金与志 本田 幸光  
広瀬 義孝 佐藤 学英  
板川 清治 九里 郁子